



町のすがた

(4月1日現在)

人口 男 3,329人 (+9)
女 3,603人 (+7)
計 6,932人 (+16)
世帯数 1,741 (+8)
()は3月1日との比較

4

第289号

平成4年4月15日
発行 新潟県三島郡三島町役場
(0258) 42-2221
印刷 長岡市あかつき印刷

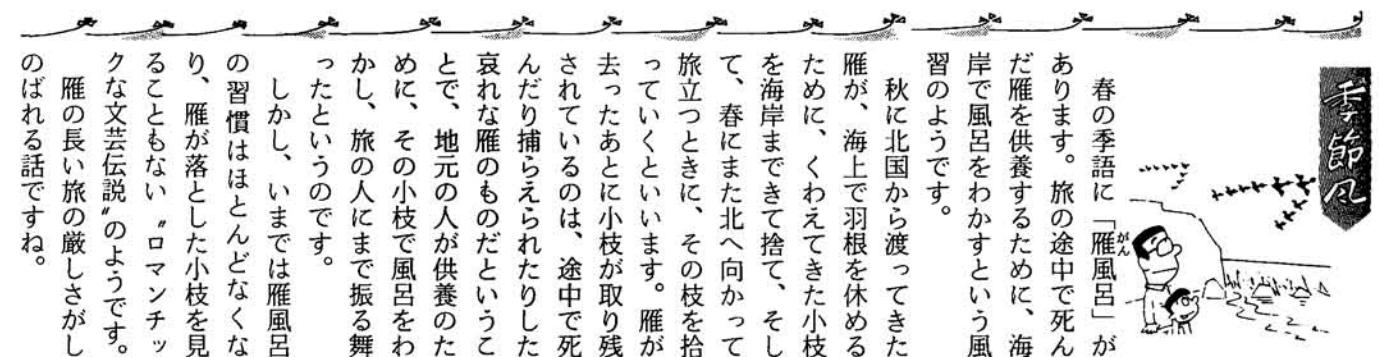


大きな声で 返事できるよ

6日、町内2つの小学校に新1年生が入学、日吉小学校でも、希望に胸ふくらませる19の小さな芽が吹き出しました。

「みんな今日から1年生ですから……」先生の言葉にしばし緊張気味。みんな仲よく早く学校に慣れてね。

ピカピカの1年生、元気いっぱいの姿を見かけましたら、あたたかい励ましの声と交通安全の心配りをお願いします。



のばれる話ですね。雁の長い旅の厳しさがし
ることもない。ロマンチックな文芸伝説のようですね。

の習慣はほとんどなくなり、雁が落とした小枝を見
たというのです。

しかし、いまでは雁風呂
の習慣はほとんどなくなり、雁が落とした小枝を見
たというのです。

秋に北国から渡ってきた雁が、海上で羽根を休める
ために、くわえてきた小枝を海岸で風呂をわかすという風
習のようです。

春の季語に「雁風呂」が
あります。旅の途中で死んだ雁を供養するために、海
岸で風呂をわかすという風習のようです。

雁が、海上で羽根を休めるために、くわえてきた小枝
を海岸まで捨て、そして、春にまた北へ向かって旅立つとき、その枝を拾
っていくといいます。雁が去ったあとに小枝が取り残
されているのは、途中で死んだり捕らえられたりした
哀れな雁のものだというこ

とで、地元の人々が供養のために、その小枝で風呂をわ
かし、旅の人々にまで振る舞つたというのです。

しかし、いまでは雁風呂

の習慣はほとんどなくなり、雁が落とした小枝を見
たというのです。

自主学習グループを作りませんか

ご意見をお寄せください



みしま交流センターでは、生涯学習の一環として勤労者の方々を対象に夜間の自主学習グループの開設を計画しております。

これは働いておられる皆さんが、趣味をとおして教養を高め、仲間との語らいの場を持つことを目的としております。

基本的な構成は次のように、開設希望講座など忌憚のないご意見を、交流センターまでお寄せください。ご希望の多い講座を開設いたします。

記

- 1 開催時期 夜7時頃から9時頃まで
- 2 開催回数 講座により 1回/月、2回/月、1回/週
- 3 開催期間 講座毎に決めます。
- 4 グループ 皆さんからのご要望の多い講座を開設します。
例えば次のようなグループが考えられますので、希望を寄せてください。-英会話、お茶、お花、慶弔袋等の表書き講座、山草同好会、碁将棋クラブ等-

ご意見・参加希望を書面もしくは電話で氏名、電話番号を添えて4月末日までに、みしま交流センター(42-2223)までお寄せください。

▽一九九二年が明けたと思つたらもう三ヶ月が過ぎ、よいよ平成四年度がスタートしました。今月号では、本年度の町予算と主要事業を紹介しました。中学校体育館の改築、庁舎周辺開発に着工、来年秋の竣工を目指し、農村環境改善センターの建設に着手するなど、将来を見通したまづくりが進められます。▽四月といえ入學、就職転勤など、何かと気ぜわしく、心が引き締まる時期です。広報担当も気を引き締めがんばっていきたいと思います。▽みなさんからの話題お待ちしています。企画調整課へご連絡を!

今月の納税

* 国民健康保険税 四月分
* 国民年金保険料 四月分
* 水道料金 四月分
* ガス料金 四月分
* 短歌

卓球の丁丁発止

ラリー応酬 右左
息呑むサイド 田口俊夫

胡葱を洗ふ

浅瀬のさにごり
春の雪通しそこねし針のめど
白鳥を空の涯まで見送りぬ

涅槃像暗きに馴れて拝みけり

团い解くや守門真向かいに輝けり
畦塗りの一と日やうやく暮れんとす
胡葱を洗ふ浅瀬のさにごり
春の雪通しそこねし針のめど
白鳥を空の涯まで見送りぬ

春の紐ゆるりと締めて百千鳥

靴の紐ゆるりと締めて百千鳥
春の雪通しそこねし針のめど
白鳥を空の涯まで見送りぬ

遠藤義志

木尾大滝花翠風
遠藤義志
小林松林
結城松子
戸恵津
坂清一
井竹
守門
千代女
桔骨

心地よい目借時ありバスの旅

百千鳥諸手さし出し駆ける子よ
海荒れてトンネルロの風寒し
時計屋の春めく音の中にある
裏返す布団の温し梅日和
犬吠の大き蛤分け合へる

俳句

团い解くや守門真向かいに輝けり
畦塗りの一と日やうやく暮れんとす
胡葱を洗ふ浅瀬のさにごり
春の雪通しそこねし針のめど
白鳥を空の涯まで見送りぬ

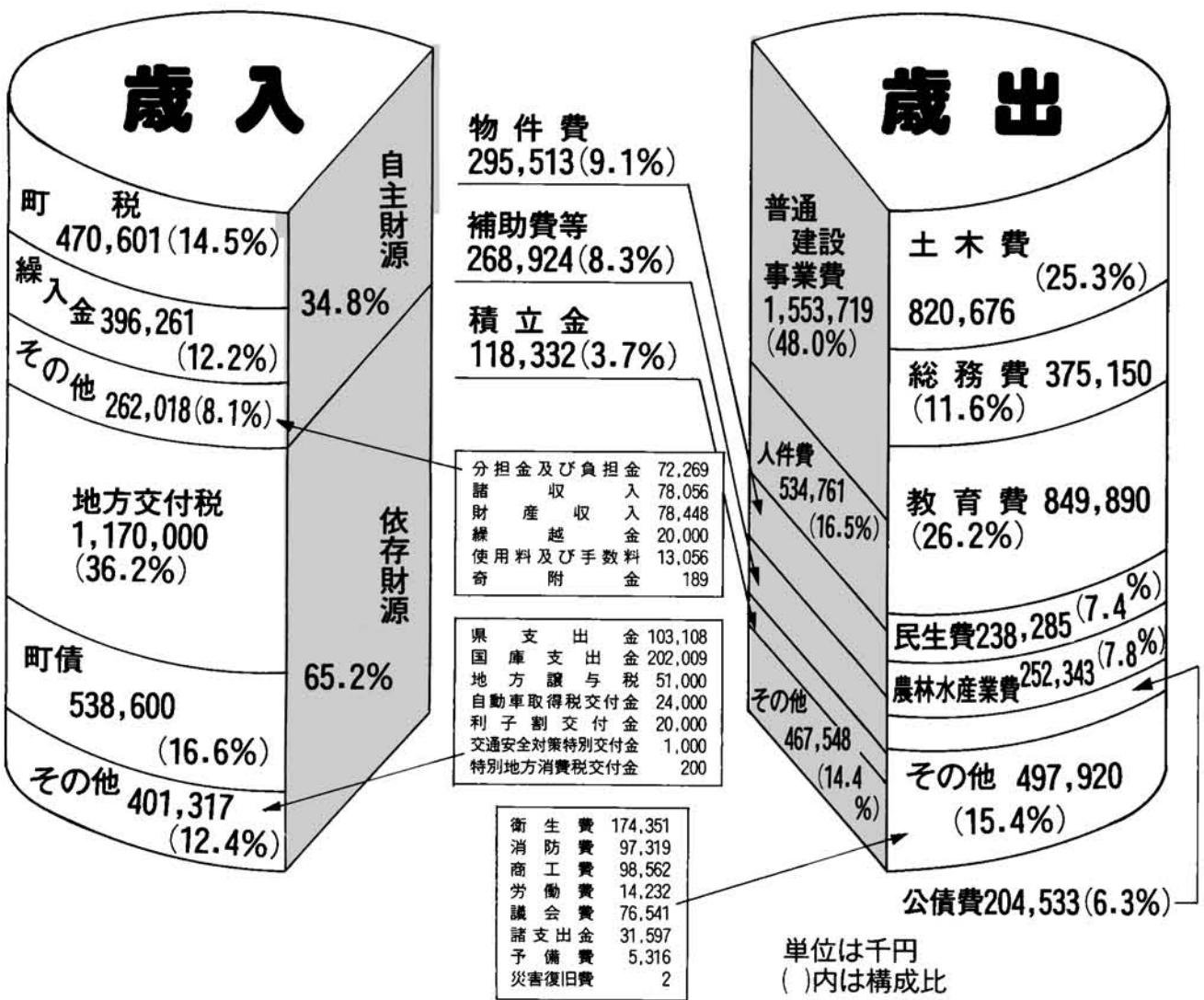
文芸



中棚遊雲
小林松林
結城松子
戸恵津
坂清一
井竹
守門
千代女
桔骨

田口俊夫

平成4年度一般会計
32億3,880万円



特別会計
15億3,585万円

国 民健康保険
特別会計
299,110千円

老 人保険
特別会計
536,676千円

下 水道事業
特別会計
700,068千円

32パーセント増の 大型予算



歳
出

歳
入

歳出では、一般行政経費の抑制、合理化に努め、生活環境の整備と福祉向上のため、限られた財源の有効利用を心掛けました。物件費は二億九千五百五十一万円で、前年度より一五・九%の伸びとなりましたが、これは交流センターの管理運営費や中学校コンピューター過程の移行に伴う経費が増加したためであります。

建設事業費は、総額十五億五千三百七十二万円と、前年度の二倍を超える規模となりました。これは、庁舎周辺の開発、中学校体育館改築、農環センター建設などの大事業に加え、住民の生活関連施設整備に、単独事業も積極的に導入したことによるものです。

二十一世紀を間近かに控え、国際化、情報化、高齢化の進展等により経済社会が大きく変貌しつつある今日、地方政府は、地域住民の要望を的確に把握し、増大多様化する行政需要に適切に対応することが要請されており、これが課題となっております。

また、各地方団体においては、それぞれの地域の特色を生かした自主的、主体的な地域づくりを進めることにより、地域社会における住民生活の質の向上を実現する

一方、地方財政は、全国規模で六十八兆円を越える巨額の借入金をかかえ、その償還が大きな負担となっています。また、経済の拡大テンポが減速しつつあることから、税収入の伸びが鈍化するものと見込まれる状況の中で、新たな財政需要にも対応しなければならず厳しい状況にあります。

当町においては、昨年三月に策定した第三次総合計画により平成十二年を目指とした新しい町づくりのための大型プロジェクトに対して、それぞれ目的基金を設定し、

このため、平成四年度の予算編成にあたっては、引き続き財政の効率化と経費の節減合理化を推進し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分と節度ある財政運営を行なうことを基本として編成いたしました。

また、住民生活の質的向上を着実に推進して行くためには、住民の日常生活に関連した社会資本の充実と生活関連施設のきめ細かな整備を図る必要があるため、各大統くるものと予想されます。

財源の確保を図っておりますが、財源は交付税等の依存財源に頼るところが大きく、現在の経済情勢の先行きが不透明な部分もあることから、財政事情は厳しい状況が続いていることを基本として編成いたしました。

また、住民生活の質的向上を着実に推進して行くためには、住民の日常生活に関連した社会資本の充実と生活関連施設のきめ細かな整備を図る必要があります。大文字からの要望はできる限り採択いたしました。

予算編成方針

三島町長 河内忠彦

町では昨年度地域福祉基金に三千万円の積み増しを行いました在宅ねたきり者介護手当の支給、心身障害者ハイヤー助成に加え、本年は母子父子入学等支援活動について、町民の皆様の要望に応えて参ります。

老人保健事業をはじめ母子保健、精神衛生等の充実を図り、町民の健康づくりと疾病の早期発見に努めて参ります。環境衛生の面では、ごみ対策が全国的な課題となつてきましたが、町民のご理解、ご協力を得ながらごみの減量化とリサイクル化を推進して参ります。



ごみの減量化とリサイクル化「母子父子入学等支援事業」を制度化

融雪施設については、さく井二本及びメーンパイプ一、

町道の整備では、大津山手十二号線（通称蓮脇線）の改良を継続で実施し、その他北部平場十四号線（通称中条線）の改良や生活道路の整備を進めるために二億三〇八五万七千円を投入しております。

幹線町道を整備 気比宮地区に 緑橋（仮称）を架設



農村総合整備モデル事業で建設を計画しております農村環境改善センターは、三島町体育館の体育場と交流センターの多目的ホールの中間規模の約五百人収容のホールをはじめ営農推進室や研修室を設け、冷暖房を完備した施設として、町民の皆様から気軽に利用していただけるセンターにしたいと考えております。

農業基盤の整備については、南部地区におきまして、は場整備事業の準備が進められているところであります。

二か年の 繼続事業として 農村環境改善センター建設

が、本事業が成就されることを期待しております。

商工関係では、商工振興のための各種助成措置を行なうこととなります。

また、この区域と県道を挟んで隣接する吉崎道下地区の開発についても、同様に関係地権者による土地区画整理事業として、平成四年度から事業が着手されることに

庁舎周辺の二十四ヘクタールの開発は、平成三年度から平成八年度までの六ヶ年事業として計画されており、平成四年度からは道路築造など本格的な工事が実施されることとなります。

また、この区域と県道を挟んで隣接する吉崎道下地区の開発についても、同様に関係地権者による土地区画整理事業として、平成四年度から事業が着手されることに

が、本事業が成就されることを期待しております。

商工関係では、商工振興のための各種助成措置を行なうこととなります。

また、街から景観整備事業として脇野町バス停留所の大規模な修復工事を行い、このバス停から役場庁舎へ向けての県道与板関原線の街路事業も本年度から着手される予定となっております。

なりますので、町ではこの二つの事業に合わせて、幹線道路の整備と土地開発公社による公共用地の取得を図って参りたいと考えております。

また、街から景観整備事業として脇野町バス停留所の大規模な修復工事を行い、このバス停から役場庁舎へ向けての県道与板関原線の街路事業も本年度から着手される予定となっております。

中央地区画整理事業着工 街から景観整備として 脇野町バス停を修復



教育施設の整備については、三島中学校の体育館改築と、郷土資料館の建設を計画しております。三島中学校の体育館改築については、昨年度建物の耐力度調査を実施した結果、危険建物に認定されたため、国の補助を受けて改築いたします。

建物は、延面積二千五百三十四平方メートルで、五億

数千万円の事業費を投入し、二階ギャラリーをランニン

グコースとして利用できるような工夫をこらした体育館

とする計画です。

また、郷土資料館については、役場庁舎東側に建設す

る農村環境改善センターとの合築形式で建設いたします。

（完成は五年秋）

主要事業の紹介

町では、本年度の重点施策として「教育、文化施設の充実」「片倉周辺等の開発と活性化対策の推進」「農環境センターの建設と産業の振興」「生活関連施設の整備」「福祉、保健の充実」の五項目を掲げました。

ここでは、その項目ごとの主な事業、予算の使いみちを紹介します。

町民ひとり当たりの予算額は?

〈総務費〉窓口業務、徴税業務、選挙や交通安全、国際交流、電算業務に

54,119円



〈民生費〉老人・障害者・児童の各福祉サービスや保育園運営に
34,375円

〈教育費〉学校教育、公民館活動、スポーツ振興のために

122,604円

〈農林水産業費〉農業振興や農道整備、農村の環境改善、林業・漁業の振興に
36,463円



〈土木費〉道路や河川の工事、防寒、街路事業に
118,389円



〈消防費〉消防や防災のために
14,039円



〈商工費〉商業振興や観光開発のために
14,218円



〈衛生費〉保健や環境整備、ゴミ処理や公害対策のために
25,152円



